

平成29年第3回下仁田町議会定例会会議録第1号（7日）											
招集年月日		平成29年9月7日									
招集の場所		下 仁 田 町 議 会 議 場									
開閉会日時		開 会				平成29年 9月 7日午前10時00分		議 長		佐 藤 勇 二	
及 び 宣 言		閉 会				平成29年 9月 21日午後 3時46分		議 長		堀 口 博 志	
応（不応）招議員		議席番号	氏 名		出席等の別	議席番号	氏 名		出席等の別		
及び出席並びに		1	小 須 田 肇		○	7	佐 藤 勇 二		○		
欠 席 議 員		2	岡 田 邦 敏		○	8	千 野 榮 治		○		
出席 12名		3	永 井 正 之		○	9	島 崎 紘 一		○		
欠席 名		4	木 暮 弘 元		○	10	堀 口 博 志		○		
欠員 名		5	岩 崎 正 春		○	11	岡 田 武 二		○		
凡 例		6	佐 藤 博		○	12	佐 藤 公 夫		○		
○ 出席を示す											
△ 欠席を示す											
× 不応招示す											
会議録署名議員		9番	島 崎 紘 一		10番	堀 口 博 志					
職務のため議場に出席したものの氏名		事 務 局 長		樋 口 令 子		書 記		小 井 土 直 也			
地方自治法 第121条に より説明のため出席した者の氏名		町 長		原 秀 男		福祉保険課長		岡 野 均			
		副 町 長		吉 弘 拓 生		保健環境課長		猪 野 馨			
		教 育 長		茂 木 学		農 林 課 長		岡 田 恵 子			
		町 長 公 室 長		荻 野 英 雄		商工観光課長		林 通 典			
		総 務 課 長		浅 川 幸 則		建設ガス水道課長		神 戸 宏			
		地 域 創 生 課 長		岩 井 収		教 育 課 長		大 河 原 順 次 郎			
		住 民 税 務 課 長		大 小 原 敏 江							
		会 計 課 長		(住民税務課長兼務)							

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 一般質問

会 議 の 経 過

開 会 平成 2 9 年 9 月 7 日 午前 1 0 時 0 0 分

○議長 佐藤勇二 ただいまから、平成 2 9 年第 3 回下仁田町議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

○議長 佐藤勇二 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第 1 2 6 条の規定によって、9 番 島崎紘一君と、1 0 番 堀口博志君を指名いたします。

○議長 佐藤勇二 続いて、日程第 2、会期の決定を議題といたします。
本定例会の会期については、さきの議会運営委員会で本議会の運営等について協議がされておりますので、その結果について、報告を求めます。議会運営委員長

(島崎紘一議会運営委員長 登壇)

○議会運営委員長 島崎紘一 おはようございます。

議長のご指名がありましたので、議会運営委員長報告を申し上げます。

去る 8 月 3 0 日、午前 1 0 時から委員会室 3 0 3 において、議会運営委員会を開催し、本定例会の会期、日程及び議案の取り扱い等の議会運営に関する事項について、協議をいたしましたので、その経過と結果についてご報告申し上げます。

会期につきましては、本日から 9 月 2 1 日までの 1 5 日間とし、審議日程につきましては、お手元に配付されている日程表のとおりであります。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定の後、町長のご挨拶をいただきます。その後、一般質問を岡田邦敏議員、小須田肇議員の 2 名の方が行い

ます。

また、一般質問終了後及び８日に全員協議会を開催し、今定例会に提案されております、報告第６号から、第８８号議案の細部にわたる説明をいただき、さらに時間内に終了しない場合は、１１日に引き続き開催させていただきます。

９日、１０日は休日につき、休会とさせていただきます。

１１日は、全員協議会を開催する場合は終了後、本会議を開催し、８日に全員協議会が終了した場合は、午前１０時より本会議を開催し、報告第５号から報告第８号までを一括報告の後、第７０号議案から第７６号議案までの提案者の説明の後、採決を行います。

次に、第７７号議案から第８１号議案の補正予算については、提案者の説明、質疑の後、予算決算特別委員会に付託いたします。

続いて、第８２号議案から第８８号議案の決算認定については、提案者の説明の後、監査委員から監査結果の報告をお願いします。監査報告後、質疑とし質疑終了後、予算決算特別委員会に付託し、審査をお願いすることに決しました。陳情につきましては、所管の委員会に付託し、審査をお願いすることに決しました。

１２日及び１３日は、予算決算特別委員会を開催していただき、１４日は、１３日の予算決算特別委員会が終了していなければ、終了後に、終了していれば、午前１０時より、社会経済常任委員会を開催していただき、１５日は委員会予備日といたします。

また、１６日から１８日は、休日につき、休会とさせていただきます、１９日は各委員会の予備日といたします。

２０日は本会議を開き、各委員長から委員会審査の報告を受けた後、第７７号議案から第８８号議案に対しての討論、採決また、陳情の採決を行います。

２１日最終日は、本会議を開き、常任委員会委員の選任及び議会運営委員会委員の選任等を行い、全日程を終了する予定でございます。

以上、この会期、日程等にご賛同賜り、円滑な議会運営ができますよう議員各位のご協力をお願い申し上げまして、委員長報告といたします。

○議長 佐藤勇二 お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員長報告のとおり、お手元に配付の日程表により、本日から９月２１日までの１５日間としたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長 佐藤勇二 異議なしと認めます。

したがって、本定例会の会期は、本日から９月２１日までの１５日間と決定いたしました。

○議長 佐藤勇二 続いて、町長から定例会招集の挨拶を願います。町長
(原秀男町長 登壇)

○町長 原秀男 おはようございます。

平成２９年第３回下仁田町議会定例会開会に当たり、ご指名をいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、議員の皆様におかれましては、定例会にご参集いただきましてありがとうございます。

７月までの猛暑から一転して、梅雨明け後は雨の降る日が続き、日照時間も少なく、農作物の生育に悪影響があるのではないかと気がかりなところではございます。

さて、本定例会には、報告４件に加え、公平委員会委員の選任、条例改正等についての議案を７件、平成２９年度の各会計補正予算、平成２８年度の各会計決算認定など、第７０号議案から第８８号議案まで１９議案をご提案申し上げます。

いずれの案件につきましても、後ほど担当課長からご説明を申し上げますので、よろしくご審議の上、ご決議を賜りますようお願い申し上げます。

以上、平成２９年第３回議会定例会開会に当たりましての挨拶といたします。

本日は大変ご苦労さまでございます。

○議長 佐藤勇二 次に日程第３、一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。岡田邦敏君

(岡田邦敏議員 一般質問席へ)

○２番 岡田邦敏 議席番号２番、岡田邦敏、議長の許可を得ましたので、通告書に基づき、質問させていただきます。

最初にお断りします。

道の駅しもにた再整備事業の質問につきましては、社会経済所管で、これまで委員会等で説明を受けている部分もあり、重複することもあります、町の将来に大きくかかわる一大プロジェクトだと私は思いますので、今回あえて一般質問をさせていただきますが、よろしくお願いいたします。

最初に、道の駅しもにたの改修費総額と国や県からの補助金についてお伺いしたいと思います。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 岡田議員の質問にお答えします。

これにつきましては、全体事業費は契約ベースで約6億7,000万円、内訳といたしまして内閣府、国交省、農水省の各国庫補助金が約2億9,000万円、起債、借入れですが、過疎債の地方創生特別枠を含めて約3億1,000万円、一般財源が約4,000万円となっております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 今の課長のほうのお答えで総額が約6億7,000万という高額な資金が投入されるわけですから、今回の再整備事業の費用対効果についてお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

今回の再整備に当たり、事前に商圈調査などで試算を行っております。あくまでも試算でございますが、現在、道の駅の売上げが約1億8,000万円余りであるのに対し、整備後におきましては、それよりは相当上回る見込みでございます。また、再整備後、20年間で町の歳入としまして約1億円ほどの新たな歳入を見込んでおります。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ぜひ効果が出るようよろしくお願いいたします。

次に、工事の進捗状況等についてお伺いしたいと思います。

特に、ことしの8月は、先ほど町長の話にもありましたように、長雨が続き、悪天候だったため、工事のほうがおくれているのではないかとということで心配されますが、どうでしょうか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

第1期の新販売施設建設及び既存施設改修工事は、今、工程全体の約3分の2ぐらいが進捗したところでございます。天候不順の影響で予定より多少おくれてはおりますが、今後おくれを取り戻すようにピッチを現在上げていくところでございます。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 今度新しくできるフードコート、自分が設計等をちょっと見たところ、天井はちょっと若干低いように思われます。圧迫感があるのではな

いかと思って心配なんです、その点はどうでしょうか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

フードコートの天井高は、おおむね2.2メートルから2.8メートルほどになっております。既存施設との接続になりますので、接続部分におきまして一部低くなる箇所がございますが、構造上やむを得ないものでございますので、ご理解をいただければと存じます。

なお、利用者に快適に利用していただけるよう、極力開放感のあるスペースになるよう工夫してまいりたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 フードコート以外にイベントスペースとして、今まで屋根がかかっていない部分が、今後でもできると思います。そこは芝生を植えて子供たちが遊んだり、外で天気のいい日は食事ができたり、そういう計画はあるんですか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

もともと円形の中庭をイベントスペースとして、これまでも利用しておりました。今後に残っている中庭スペースをイベントスペースとして活用したいと考えております。

なお、中庭は県有地でございますので、芝生広場等の整備を県に要望しているところでございます。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ぜひ有効に使っていただければと思います。

次に、当初の計画で、当初敷地内にコンビニエンスストア、コンビニをつくるということ、ちょっと自分の脳裏に残っているんですが、それについてはどうですか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

商圈調査の中で意向調査を行いました。その際には、関心を示した事業者もありましたが、希望する利用面積等の条件が折り合わず断念したため、今回の再整備事業の中ではコンビニは予定しておりません。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 次に、現在、バスタミナール、高速バス等がとまるところができております。仮設だと思えるんですが、今後、雨の日なんかのために屋根な

んかは考えていらっしゃるんですか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

高速バスのバス停につきましては、屋根及び雨風をしのげる待合室を設置するとともに、そこからトイレ棟までの通路にも屋根を設置して利用者の便宜を図る予定であります。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 お年寄り等も高速バス等、利用すると思います。交通安全には十分気をつけて運行をお願いしたいと思います。

続きまして、フードコート内で今度始める地元の野菜を使った6次産業化について伺いたいと思います。

野菜を使うという関係で、関係機関と連絡を取り、今からよい野菜を使うためには農家の人に準備、指導等、そんなことが心配されますが、野菜はやはり急に出してくれといっても、いい野菜が出ないので、その点はどう対策しておりますか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

6次産業化による通年での所得が得られるような農業の振興支援は、再整備の基本方針の柱の1つでもございます。地元農産物を使用した加工品をつくるために、必要な農産物を必要な時期に不足することがないように提供していただけるよう、生産者の方々と調整を図ってまいりたいと考えております。

また、農林課とも関係がありますので、連携をとりながら事業者、関係者とも事前協議をしっかりと実施していきたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ぜひ今から準備をして、農家の人も大分高齢化になっております。そんな中で、うまく6次産業化がスタートできるよう、収入が得られるよう、指導のほうよろしくお願ひしたいと思います。

次に、その地元の野菜が天候等で不足する場合もあり得るかと思ひます。そんなときはどうするか、考えはありますか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 道の駅関係者、また、地元農家、道の駅には協力会というのもございますので、そちらと事前に計画をちゃんと図りながら推進してまいりたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ぜひ地元の野菜がうまく使えるよう、心配ないようよろしくお願いします。

次に、道の駅内の敷地内に建設が予定されております、まだ仮称だと思いますが、コミュニティ施設についてお伺いしたいと思います。

まず、使用目的についてお伺いしたいんですが、よろしくお願いします。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

この建物は、子育て及び高齢者支援などの地域福祉支援の拠点という大きな目的と有事の際には、地域防災の拠点として使用するための機能を持たせており、そういう目的で整備をいたします。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 わかりました。

規模等ちょっと聞きたいんですが、畳や簡易ベッド等は考えておりますか。例えば今、課長が答弁していただいた中に、有事のときという話が出ましたが、3年ほど前、下仁田でも大雪が降って、大型トラック等が道の駅でとまって調整したということが現実にあります。そんな方々の対応も含め、そういう畳やベッド、そういうのも必要かなって自分も考えますが、そういう点はお考えはありますか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

まず、規模ですが、木造平家建てで延べ床面積が約390平方メートルでございます。

また、大雪等、有事の際にドライバーが休憩や仮眠をとるということも考えられます。そういう場合に必用な物品等につきましては検討して、いざというときに使える準備をしまいたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ぜひ有効に、地元の人も研修会等で使えるそうなので、有効に使っていただければと思います。よろしくお願いします。

続きまして、最後になりますが、来年、予定ではグランドオープンという予定ですが、町長としては、今後この道の駅しもにたに対しまして、どんな道の駅にしていきたいか、町長、よろしくお願いします。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 原秀男 岡田議員の質問にお答えします。

道の駅しもにたの再整備事業は、平成27年に策定しました、まち・ひ

と・しごと創生総合戦略の中に位置づけられており、地方創生の一環としての再整備をしております。この施設の完成後は、地産外消による販路拡大や売り上げの増大により、地域経済の好循環を実現させて、あわせて農業振興、また、支援など、基幹産業の後押しにつなげていく、そのための拠点にしたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ありがとうございます。

外からの外貨もやはり落としていただきたいし、地元の人たちもやはり潤うように、また、利用ができるようなすばらしい道の駅にしていいただければと思います。町長、よろしくお願いいたします。

続きまして、2項目めの災害時の対応についてお伺いしたいと思います。

近年では、異常気象によるゲリラ豪雨等、全国至るところで災害が発生しております。幸い、私たちが住む下仁田町では、ここ数年大きな災害もなく来ておりますが、今後も絶対安全だという保障はどこにもありません。行政が、また、町民それぞれが防災意識を持つ必要があると思います。

そんな中、5月にすばらしくよくできた防災マップが全戸に配布されております。それを見ますと、町内随所に土砂崩れや水害の危険箇所が多く見受けられます。町として、今後の対策を聞きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 浅川幸則 岡田議員のご質問にお答えします。

急傾斜対策や治山事業等につきましては、それぞれ担当課でございます建設ガス水道課、農林課が県へ要望し、県の担当者が現地を確認の上、緊急性の高いものから順次事業化して対策工事を実施していただいております。地元地区からの要望を上げていただければ事業化がスムーズに進められますので、よろしくお願いいたします。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 要望書に基づいてということですので、できる限り、要望書が出てきたら、予算の都合もありますが、速やかに工事のほうをやっていただき、下仁田町で災害が起きないように、最善の努力をお願いしたいと思います。

続きまして、災害時の職員の連絡網と登庁等についてお伺いしたいと思います。

例えば有事のとき、徒歩で10分とか20分以内で役場に登庁できる職員はどのくらいおりますか、お伺いします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 浅川幸則 2キロ未満の職員が25名います。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 早くにやはり役場に駆けつけて、いろいろ作業がされるかと思っています。ぜひ町内に住む方、すぐ出られる方は速やかにそういうときは来ていただければと思います。

それと、1つ心配されるのが、交通が分断された場合など、富岡とか、よそから、町外から通っている職員大勢おられます。そんな中で、そういうときは町外の職員はどうするか、対処は考えておりますか。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 浅川幸則 緊急時における三役と課長職の連絡網については、毎年4月に整備しています。職員につきましては、担当課長から所属職員に連絡する体制となっています。

先ほど申し上げましたが、激甚災害等で車両で登庁できない場合に備えて、徒歩または自転車で勤務場所にかかわらず役場に登庁できる職員のうち、副町長を含めて2キロ未満の職員25名を緊急登庁職員に指定して、初期対応に当たることとしています。その他の職員につきましては、交通途絶時においても自転車や徒歩により勤務場所に集合することを原則として、災害の状況により勤務場所に参集が困難なときは、最寄りの町の出先機関または避難所に参集して防災活動に従事することとなっております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 災害がないにこしたことはないんで、よろしくお願ひしたいと思っています。

災害の関係、最後になりますが、昨年、私たち議員が吉岡町で毎年恒例になっていますが、開催されている議員研修で、その災害に強いまちづくりという講演で、人間の声は、やはり屋外だと特に聞こえが悪い、そういう難点があります。聞こえる距離も限られています。そんな中、災害用の笛はとても有効な手段だと私は感じました、その講演で。町としては笛、単なる笛かもしれませんが、それに対して何かお考えはありますか。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 浅川幸則 5月に配布しました防災マップの裏表紙の左下のほうに、非常持ち出し品は定期的に点検をということで、阪神・淡路大震災で役立ったものの1つとして、ホイッスルを紹介しております。動けなくなって助けを呼ぶときに大きな音が出せるホイッスルの有用性については認識しており

ます。ただ、防災用ホイッスルから１００円から２００円程度で販売されていますが、配布されたものはどこかにしまい込んで利用されないことがほとんどではないかと思います。防災意識を高めていただき、個人で準備していただくことが緊急時に活用できると考えております。

防災用品につきましては、非常時持ち出し品の準備チェック表が防災マップには載せてありますので、ぜひ活用していただきたいと思います。

また、２分の１の補助で最高１０万円限度の下仁田町地域づくり支援事業補助金を活用し、防災・防犯対策として、ホイッスルを全戸に配布した行政区もございます。

今後も、区長会や民生委員児童委員協議会等、会議等の機会を捉えて防災意識の向上のためにいろいろな啓発を進めていきたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○２番 岡田邦敏 今、課長より答弁いただいた中で、確かにもらったものはみんな粗末に扱ってしまう。どこかへしまってしまったたり、そういう点も考えられます。やはり下仁田町でも、行政によってはそういうものが必要だということで、既に申請して使っているところもあります。災害だけでなく、今、獣や防犯上、そういった点でも使えるかなって自分も思いますので、前向きに検討をお願いしたいと思います。区長会や民生委員の方、そういう方々と相談してみるという課長の答弁ですので、その辺またよろしくをお願いしたいと思います。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○２番 岡田邦敏 次に、３項目めの仲町の旧黒澤商店さん跡地に建設が予定されています、これも仮称だと思います「チャレンジ交流拠点しもにた」についてお聞きしたいと思います。

まず、総工事費及びそのうちの補助金額、町負担額等、わかりましたら教えてください。

○議長 佐藤勇二 地域創生課長

○地域創生課長 岩井収 岡田議員さんのご質問にお答えいたします。

地域創生拠点整備交付金申請時に計上していませんでした、設計管理業務委託料や近隣の民家との境界測量委託料と２基設置予定の浄化槽整備工事負担金については、９月補正予算で上程させていただきますが、それらを加えました設計委託、解体費用などを含む建物の総工事費は、予算ベースでございますが約６，３５０万円でございます。財源といたしましては、国庫補助金の地域創生拠点整備交付金は２，８００万円、過疎対策事業債は３，２００

万円、一般財源を350万円見込んでおります。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 一般財源も出るわけですので、ぜひ有効に使用していただきたいなと思います。

次に、まだわかんないんですが、完成後のことを聞きたいと思います。完成後は、どんな人が、どんな目的で、いつごろから使用できるのか。それと、使用料等は取るのかお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長 佐藤勇二 地域創生課長

○地域創生課長 岩井収 お答えいたします。

町に寄附していただきました旧黒澤商店の空き家の利活用、それとその蔵づくりの商家の一部改修改築し、若者の起業支援、地域の交流スペースとしての活用を目的としております。改修する蔵の部分は、主に町内の若者に起業していただくことを想定し、厨房施設を整備し、飲食スペースを併設いたします。改築部分については、インターネット環境を整備し、複数のブースやワークスペースを設け、いわゆるフリーランスと呼ばれます、会社に属さず個人で全国どこでも仕事を行うような方に起業していただくことを想定するものでございます。

使用料等を含む施設運用に関する制度設計は、現在検討を進めているところでございますが、平成30年度中の利用開始を目指しております。

以上でございます。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 今、課長答弁の中で、若い人、若い人ということで、確かに若い人は大事な宝なんですけど、若くなくても大丈夫なんですか。

○議長 佐藤勇二 地域創生課長

○地域創生課長 岩井収 特に年齢制限を設けてはございませんが、できるならば若い方がお見えになって、お子さんと一緒にこの町に住んでいただければ一番理想かなと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 そうですね。確かに家族を連れてきて、子供がふえて、理想になると思います。そうすれば、空き家対策のほうにも大分貢献でき、使える空き家を利用してもらって、人口もふえ、少しでも活気が生まれるかなと思います。ぜひその辺、力を入れて今後よろしくお願いします。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 最後になりますが、町長にお聞きしたいと思います。

今、課長の話にもありましたUターンやIターンの人材を我が町に受け入れをし、空き家対策を絡め、力を入れてほしいところですが、町長はこのチャレンジ交流拠点しもにた完成後、どういうふうに使っていきたいか、町長のお考えがありましたらよろしくお願いいたします。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 原秀男 町民はもちろんのこと、今後、町を担っていく若者やIターン、Uターン含めて、創業、起業したいという機運を行政としてしっかり応援するとともに、この施設を拠点として、交流人口の増加、また、にぎわい創出を図りたい、そして、地域の活性化につなげていきたいと考えております。

○議長 佐藤勇二 岡田邦敏君

○2番 岡田邦敏 ありがとうございます。

ぜひ町長、頑張って、いいチャレンジ交流拠点しもにたができますよう、今後も町が活性化できるよう最善の努力をお願いして、時間はまだ早いんですが、私の一般質問を終了させていただきたいと思います。大変ありがとうございました。

○議長 佐藤勇二 続いて、一般質問を許します。小須田肇君

(小須田肇議員 一般質問席へ)

○1番 小須田肇 議長の許可をいただきましたので、議席番号1番、小須田肇が通告書に基づきまして一般質問をさせていただきます。

まず、観光について質問をさせていただきます。

隣町の軽井沢町には、毎年多くの観光客が訪れておりますが、軽井沢町と荒船風穴及び神津牧場をつなぐ最も近いアクセス道路として、軽井沢町発地地区から通じる妙義荒船スーパー林道が考えられるところでございますが、その林道の現在の状況と、その林道を活用した観光ルートの計画はありますでしょうか。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 妙義荒船線の現在の状況を報告させていただきます。

妙義荒船線は現在、下仁田町、軽井沢町、佐久市で管理しておりますが、下仁田町の町道としての管理部分は群馬県側の3区間でございます。そのうちの1区間、和美峠を越えた先の軽井沢から進入する路線におきまして、入り口から約2.4キロメートルの地点から約1.2キロメートルにわたる区間がのり面崩落のために通行どめとなっております。このため、迂回路といたしまして、レイクニュータウン先の別荘地を経由するルートで、神津牧場や荒船風穴にアクセスしておりますが、幅員は3から4メートルの山岳道路

で、20キロメートルほどの距離がございます。

なお、そのほかの区間での通行どめはございません。これが現在の状況です。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 引き続きお答えします。

現段階におきまして、その林道を活用した観光ルートの計画はございませんが、このルートを利用して神津牧場まで行くには、入り口及び分岐点等の数カ所に妙義荒船林道の標示がございます。一部老朽化しておりますが、わかりやすい案内看板を検討したいと思います。

今後このルートを観光制定していくには、支障となる枝の伐採などの課題解消や改善が必要と思われるので、建設ガス水道課と連携して、関係自治体と協議を行い、環境を整えるように調整を図り、考えてまいります。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 ありがとうございます。

軽井沢町からの誘客は、この下仁田町においても長年の懸案事項と思われます。しかしながら、なかなかこれといった施策はなされておられません。軽井沢を目的にきた観光客を下仁田に向かわせるのは、難しいことだなと私も思います。しかし、その観光客の中に世界遺産、荒船風穴を旅の目的としている人がいるとすれば、話は別でございます。そうした観光客の皆さんのためにも、また、荒船風穴、神津牧場のPRのためにも、案内板の改修、道路の整備等、前向きに検討をしていただきたいと思います。

先ほど建設課長から状況の報告がございましたが、建設課長がおっしゃった、まさしくレイクニュータウンの別荘地を経由するルートが、私がこのルートがいいんじゃないかなと思っておりますルートでございます。ぜひとも整備等、検討をしていただきたいと思います。

続きまして、下仁田町の九峰登山道のわかりやすい案内標示をしていただきたいと思います。計画はございますでしょうか。

○議長 佐藤勇二 商工観光課長

○商工観光課長 林通典 お答えします。

現段階におきましては、その計画はございませんが、まず、現状を調査把握しまして、その後、安全性を踏まえて順次考えたいと思っております。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 ありがとうございます。

最近、低山登山というんですか、特に中高年の皆さんに人気があるよう

でございます。この春のことなんですけれども、浅間山からおりてきて伊勢山に向かうと思われるリュックを背負ったグループを見かけました。また、去年の秋のことなんですけれども、御嶽山を縦走し、富士山を登ってきたという都内から来られたグループに話を聞く機会があったのですが、「どうして九峰を知ったのですか」と聞きますと、「ネットのブログで知った」という返事でした。私も早速ネットで調べてみますと、幾つかの九峰に関するブログがあり、その中の1つはかなり詳しい内容で九峰を紹介されておりました。また、そのブログの作者が九峰を知ったきっかけは、下仁田ジオパークに関係していることがわかり、大変驚いた次第でございます。そして、そのグループに「登山道はどうでしたか」と聞きましたところ、「登山道は少々荒れていても、それは登山の醍醐味である」と、また、「富士山の登山道入り口の案内板が大変わかりづらかった」という答えが返ってきました。ぜひ入り口案内板の再整備から始めていただきたいと思いますと思いますが、よろしくお願いいたします。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 続きまして、下仁田地内の県道等で道路に木の枝が覆いかぶさり、観光バス等の通行に支障がある場所がございます。地元の人の話では、県の土木事務所に話をしているが、なかなかやってくれる様子がないということでした。木そのものを伐採するという大がかりなことではないので、町で何とか対応できないものでしょうか。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 答えいたします。

国県道に限りますけれども、通行に支障のある樹木が確認された場合には、建設ガス水道課にご一報いただければ、富岡土木事務所に連絡いたします。道路敷にあり、通行の障害になれば管理する富岡土木事務所において伐採することですので、連絡をお願いいたします。

なお、発注いたしましても、業者の都合により即施行とはならない場合がございますので、その点をご承知おきください。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 ありがとうございます。この質問の具体的な場所なんでございますけれども、中之嶽神社に通じる元有料道路の道が大変そういう状況にあります。これから秋を迎え、当然観光客、大型バスでやってこられるということは想像できることなんですけれども、何か聞くところによりますと、観光バスの運転手さんも中之嶽のあの富岡部分を含めてですが、大変木の枝が

通行を邪魔をしているということで、対向車がなければ、対向車線を走りながら行き来をしているというふうにも伺っております。何かこれも聞いた話ですが、バスをそういう状況で傷つけたりすると、運転手さんが弁償といいましょうか補償するようなケースもあるそうでございます。今、具体的な地域を言ったんですけれども、その点いかがでしょうか。

○議長 佐藤勇二 建設ガス水道課長

○建設ガス水道課長 神戸宏 答えいたします。

中之嶽に向かう県道の木の伐採の話なんですけれども、土木事務所に確認いたしましたところ、もう現在発注済みだということでございます。紅葉の時期までには施行を行うということなんで、ご承知おきください。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 ありがとうございます。

いいお答えが聞けたような気がします、やはりお願いしますと、申し込んだ後に大分時間がかかるというのも、またいかなもんかなと思いますので、私どももそういう話を聞きましたら、課長に連絡するなりいたしますけれども、ひとつ今後ともよろしくお願いいたします。

続きまして、町の物品購入における地元業者さんとの取引について質問いたします。

地元業者と町外業者との取引のここ二、三十年の推移、そして、その過程での取引の割合はどのようなものなのか伺いたします。

○議長 佐藤勇二 総務課長

○総務課長 浅川幸則 小須田議員の質問にお答えします。

庁内で恒常的に使用する事務用商品を一括発注管理するために、昭和50年7月に用品調達基金条例を施行し、在庫管理を行っています。用品調達基金で取り扱う物品の購入については、基本的に町内業者を利用する方針をとっています。平成10年からは在庫管理物品以外の事務用消耗品についても、町内の業者で購入するように努めております。

なお、急に必要になった物品や町内業者に発注した場合、業者が余分な在庫を抱えるような物品等については町外業者を利用することとなります。

用品調達基金で取り扱っている消耗品の金額は年間400万円前後で、町内業者の割合はおおむね95%となっています。

なお、年度別の購入額と町内業者の割合についてですが、平成28年度は514万3,000円で95.69%、平成27年度は538万7,000円のうち98.76%、平成26年度は375万6,000円のうち90.61%、

平成25年度は271万7,000円のうち94.84%、平成24年度は271万7,000円、86.87%、平成23年度は275万7,000円で97.2%、平成22年度は280万2,000円で96.95%、平成21年度は443万円で55.94%、平成20年度は331万5,000円で89.1%、平成19年度は371万2,000円で90.3%でございます。過去10年間の実績でございますが、10年間の平均ですと367万3,000円で89.63%でございます。直近5年間の平均ですと394万4,000円で93.35%、さらに直近の3カ年の平均ですと476万2,000円で町内業者の割合は95.02%となっております。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 ありがとうございます。

私が思っていたより数値が高かったので、ほっとしているわけでございます。引き続き町内の業者さんからの購入を続行していただくとともに、消耗品に限らず、町内の業者さんとの取引のできる品目を模索していただき、町の商工業の振興につなげていっていただきたいと思うところでございます。

また、職員の皆様におかれましても、町内での物品の購入をぜひとも心がけていただきたいと思います。町外から通勤している職員さんも、日々必要な食料品など、帰宅の際に町内で購入を心がけていただきたいと思います。この心がけるという気持ちは非常に大事なことであると思います。なぜならば、心がけることにより、それが習慣につながると思うからでございます。町長にも朝礼、訓示等で呼びかけていただきたいと思います。いかがでしょうか。

○議長 佐藤勇二 町長

○町長 原秀男 私もそういう主義で、その方向で進みたいと思います。

○議長 佐藤勇二 小須田肇君

○1番 小須田肇 ありがとうございます。

ぜひ声を大にして職員の皆様に心がけるよう呼びかけていただきたいと思います。

大変時間ございますけれども、以上で私の質問を終わります。大変どうもありがとうございました。

○議長 佐藤勇二 以上で一般質問を終結いたします。

○議長 佐藤勇二 本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

大変ご苦労さまでした。

散 会 平成 2 9 年 9 月 7 日 午前 1 0 時 4 9 分